



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,765	5.3	705	△38.8	713	△48.7	486	△51.9
2019年3月期第2四半期	10,219	2.7	1,153	△3.7	1,390	10.7	1,011	9.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 467百万円(△46.6%) 2019年3月期第2四半期 875百万円(0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	80.03	—
2019年3月期第2四半期	163.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	23,689	16,721	70.6	2,767.39
2019年3月期	23,714	16,627	70.1	2,687.86

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,721百万円 2019年3月期 16,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2020年3月期	—	22.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,902	7.5	1,331	△34.4	1,440	△40.2	944	△45.8	155.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,546,200株	2019年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	504,034株	2019年3月期	360,034株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	6,042,166株	2019年3月期2Q	6,186,210株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調を維持しているものの一時期の勢いは無く、中国はその米国との貿易摩擦等により景気が低迷し、欧州では英国のブレグジット問題が前進しない上にドイツがマイナス成長に陥り、インドも失業率上昇と個人消費の低迷で大きく減速し、東南アジアもこれらの国の影響を受けて低迷し、全体として先行き不透明感はさらに大きく、低調に推移しました。

一方国内経済は、海外需要の落込みを受けて輸出は伸び悩み、消費税増税に伴う駆け込み需要も力強さを欠き、相次ぐ自然災害による経済的なダメージも大きく、よい材料はラグビーワールドカップの成功くらいで全体として低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、いがり産業グループを子会社化したことにより10,765百万円（前年同期比5.3%増）と増加しました。しかしながら、いがり産業グループを除いた従来の連結対象会社だけで見た場合の売上が前年同期比4.4%減となったことと、原材料費の値上りと鉄スクラップ価格の下落、労務人件費や減価償却費の増加、海外子会社の採算悪化の影響等があり、営業利益は705百万円（前年同期比38.8%減）と減少しました。経常利益は、営業外での前期の為替差益169百万円が一転して102百万円の為替差損となったこともあり、713百万円（前年同期比48.7%減）と減少しました。結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、486百万円（前年同期比51.9%減）と減少しました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 金属関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、9,256百万円（前年同期比4.9%減）と減少しました。国内は、トラックメーカーと一部の自動車メーカー及びユニットメーカー向けの売上が客先各社の業績や海外拠点の生産調整等により低迷し、減少しました。海外では、米国子会社の売上が客先の機種切換えに伴う製品打切り等により、インドネシア子会社の売上が客先の生産調整等により、減少しました。

② 樹脂関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、994百万円となりました。

③ その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、514百万円（前年同期比6.0%増）と増加しました。海外は欧州やカナダで売上が減少したものの米国と韓国で増加し、全体として増加しました。国内は連続ねじ締め機関連が堅調に推移したことと家庭用製品（チョイむきsmart）のメディア紹介による売上寄与もあり、増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、23,689百万円となりました。主な増加は受取手形及び売掛金321百万円、たな卸資産172百万円、有形固定資産627百万円、無形固定資産156百万円であり、主な減少は現金及び預金959百万円、電子記録債務158百万円、有価証券176百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少し、6,968百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金194百万円、短期借入金234百万円、未払金149百万円、社債125百万円、固定負債のその他264百万円であり、主な減少は電子記録債務744百万円、未払法人税等129百万円、流動負債のその他110百万円、長期借入金72百万円、退職給付に係る負債24百万円であります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、16,721百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益486百万円であり、主な減少は剰余金の配当金148百万円、自己株式の増加212百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は70.6%（前連結会計年度は70.1%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1,256百万円減少し3,743百万円（前連結会計年度末比25.1%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は304百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益715百万円、減価償却費589百万円、売上債権の減少337百万円などの資金の流入があったものの、仕入債務の減少851百万円、法人税等の支払額347百万円などの資金の流出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,023百万円（前年同四半期比61.9%増）となりました。これは定期預金の払戻による収入114百万円、有価証券の償還による収入714百万円などの資金の流入があったものの、定期預金の預入による支出325百万円、有価証券の取得による支出337百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出275百万円、有形固定資産の取得による支出548百万円、無形固定資産の取得による支出181百万円、投資有価証券の取得による支出219百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は633百万円（前年同四半期比67.8%増）となりました。これは長期借入金の返済による支出233百万円、配当金の支払額149百万円、自己株式の取得による支出212百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期及び当第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、2019年11月12日に「業績予想の修正」で発表いたしました業績予想に変更はありません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

なお、2019年11月12日に発表いたしました「業績予想の修正」の為替レートは、1 USドルは108.7円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,469,004	4,509,544
受取手形及び売掛金	2,584,758	2,906,379
電子記録債権	1,801,956	1,643,799
有価証券	1,463,474	1,286,500
商品及び製品	623,497	626,336
仕掛品	282,756	418,284
原材料及び貯蔵品	334,892	369,255
その他	306,887	301,779
流動資産合計	12,867,228	12,061,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,550,375	6,981,313
減価償却累計額	△3,870,682	△4,194,377
建物及び構築物（純額）	2,679,692	2,786,936
機械装置及び運搬具	12,699,621	13,496,602
減価償却累計額	△10,122,053	△10,662,140
機械装置及び運搬具（純額）	2,577,568	2,834,462
土地	1,353,239	1,480,616
建設仮勘定	270,129	141,266
その他	5,234,303	5,812,329
減価償却累計額	△5,001,897	△5,314,862
その他（純額）	232,405	497,467
有形固定資産合計	7,113,035	7,740,748
無形固定資産		
のれん	—	122,768
その他	128,814	162,685
無形固定資産合計	128,814	285,454
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,376	2,522,795
長期貸付金	11,197	914
繰延税金資産	216,034	189,838
その他	876,956	892,513
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,605,285	3,601,781
固定資産合計	10,847,136	11,627,983
資産合計	23,714,364	23,689,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,586	1,072,315
電子記録債務	2,986,159	2,241,890
短期借入金	300,000	534,090
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	287,223	316,514
未払金	554,744	704,274
未払法人税等	318,285	188,992
賞与引当金	600,355	553,688
役員賞与引当金	40,160	41,321
その他	673,995	563,060
流動負債合計	6,638,511	6,226,147
固定負債		
社債	—	125,000
長期借入金	175,651	103,087
繰延税金負債	16,826	18,448
役員退職慰労引当金	21,303	21,506
退職給付に係る負債	132,198	107,819
その他	102,289	366,815
固定負債合計	448,271	742,678
負債合計	7,086,783	6,968,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	14,621,241	14,946,286
自己株式	△182,663	△395,351
株主資本合計	16,437,964	16,550,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,984	399,097
為替換算調整勘定	△128,533	△179,491
退職給付に係る調整累計額	△59,833	△48,889
その他の包括利益累計額合計	189,616	170,716
純資産合計	16,627,581	16,721,037
負債純資産合計	23,714,364	23,689,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,219,909	10,765,195
売上原価	7,872,113	8,725,951
売上総利益	2,347,796	2,039,243
販売費及び一般管理費		
運搬費	180,048	188,907
給料及び賞与	319,551	352,899
賞与引当金繰入額	104,001	93,290
役員賞与引当金繰入額	36,817	41,321
退職給付費用	7,081	10,050
減価償却費	16,217	21,295
貸倒引当金繰入額	200	219
のれん償却額	—	13,640
その他	529,965	611,728
販売費及び一般管理費合計	1,193,883	1,333,353
営業利益	1,153,913	705,890
営業外収益		
受取利息	28,977	43,472
受取配当金	16,348	19,847
太陽光売電収入	7,776	7,238
為替差益	169,693	—
その他	21,359	49,812
営業外収益合計	244,156	120,370
営業外費用		
支払利息	4,259	6,756
為替差損	—	102,467
減価償却費	3,085	2,721
その他	572	879
営業外費用合計	7,917	112,824
経常利益	1,390,151	713,437
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	192	—
固定資産売却益	311	681
貸倒引当金戻入額	—	3,353
特別利益合計	504	4,035
特別損失		
固定資産除却損	3,865	1,903
特別損失合計	3,865	1,903
税金等調整前四半期純利益	1,386,790	715,569
法人税、住民税及び事業税	358,662	193,418
法人税等調整額	16,327	35,903
法人税等合計	374,990	229,322
四半期純利益	1,011,800	486,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011,800	486,247

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,011,800	486,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,974	21,112
為替換算調整勘定	△149,806	△50,957
退職給付に係る調整額	2,531	10,944
その他の包括利益合計	△136,300	△18,900
四半期包括利益	875,499	467,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875,499	467,346
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,386,790	715,569
減価償却費	531,550	589,005
のれん償却額	—	13,640
賞与引当金の増減額(△は減少)	△53,318	△31,667
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	14,812	1,161
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△716	202
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,622	△24,379
受取利息及び受取配当金	△45,326	△63,319
支払利息	4,259	6,756
為替差損益(△は益)	△159,537	73,148
固定資産除却損	3,865	1,903
固定資産売却損	—	△681
売上債権の増減額(△は増加)	△33,595	337,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	60,757	△21,497
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,358	△851,153
未払金の増減額(△は減少)	△100,388	33,831
その他	146,045	△185,185
小計	1,662,217	594,358
利息及び配当金の受取額	45,316	61,854
利息の支払額	△4,367	△3,922
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△185,201	△347,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,517,964	304,891
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△213,492	△325,020
定期預金の払戻による収入	280,450	114,062
有価証券の取得による支出	△202,806	△337,766
有価証券の償還による収入	588,937	714,728
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△275,187
有形固定資産の取得による支出	△499,668	△548,160
無形固定資産の取得による支出	△12,246	△181,094
投資有価証券の取得による支出	△451,132	△219,400
その他	△122,583	33,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△632,541	△1,023,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△142,876	△233,209
配当金の支払額	△234,087	△149,443
自己株式の取得による支出	△108	△212,688
リース債務の返済による支出	△626	△38,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377,698	△633,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,594	96,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	440,129	△1,256,527
現金及び現金同等物の期首残高	4,482,752	5,000,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,922,882	3,743,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	9,735,110	—	9,735,110	484,799	10,219,909	—	10,219,909
セグメント間の内部 売上高 又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,735,110	—	9,735,110	484,799	10,219,909	—	10,219,909
セグメント 利益	1,381,790	—	1,381,790	97,414	1,479,205	△325,292	1,153,913

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連結体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△325,292千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	9,256,845	994,307	10,251,153	514,042	10,765,195	—	10,765,195
セグメント間の内部 売上高 又は振替 高	—	233	233	—	233	△233	—
計	9,256,845	994,540	10,251,386	514,042	10,765,428	△233	10,765,195
セグメント 利益	988,892	28,172	1,017,064	74,002	1,091,067	△385,176	705,890

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連結体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△385,176千円には、セグメント間取引消去△233千円、報告セグメントに配分していない全社費用△384,943千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、イガリホールディングス株式会社の株式を取得したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「車両関連部品事業」の1区分から、「金属関連部品事業」及び「樹脂関連部品事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2019年10月9日開催の取締役会において、新たに子会社を設立することについて決議いたしました。

1. 設立の理由

当社は、更なる自動車部品需要の増加が期待される中国地域において、自動車部品需要への対応、海外事業の一層の拡大を図ることを目的として、下記の概要で子会社設立を決定いたしました。

2. 設立する子会社の概要

	<small>むろきしゃぶけん (こほく) ゆうげんこうし</small>
(1) 商号	睦諾汽車部件(湖北)有限公司 英文表記: MURO TECH XIAOGAN HUBEI CO., LTD
	<small>こほくしやう こうかんし こうしんぎじゆつかいはつく</small>
(2) 所在地	湖北省 孝感市 高新技术开发区
(3) 代表者	総経理 舩山 博
(4) 事業内容	自動車部品の製造販売並びに輸出入
(5) 資本金	US \$ 7,360,000 (約8億円)
(6) 出資比率	当社 100%
(7) 設立年月日	2019年11月 (予定)
(8) 稼動開始	2021年4月 (予定)

3. 今後の見通し

当該子会社設立による連結業績に与える影響は軽微であります。